

高度経済成長期、職の多様化

1970年代

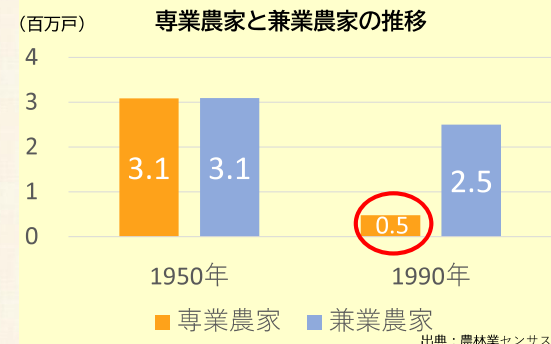
全国にトラクターが広がる



農村の労働力が都市に移っていき、高度経済成長が起こったよ。
農村では**専業農家が減って、兼業農家が増えた**んだ。



WTO協定が発効されるなど、**農産物輸入自由化が進み、海外農産物との競争が激しく**なってきたよ。



1980年の農家
413万人



生産性の向上・産業化の進展

2000年代

無人トラクターで自動化

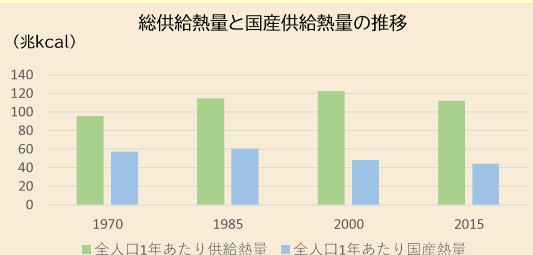


写真：ヤンマーホールディングス株式会社提供

コラム

供給熱量と食料自給率のお話

食料自給率の低下は、1980年代頃までは、国内生産の減少よりも、人口増加と一人当たりの供給熱量の増加が要因となっていました。その後、人口は微減し、一人当たりの供給熱量も減少する中で、それ以上に国内生産が減少していることが自給率低下の要因となっています。



農業法人の増加



2000年の農家
240万人

